

平成28年度 生駒市親子ふれあい農業体験学習（田植え作業）

はじめに、足もとの確認を！

圃場の中に入ると、足が水面から20cm以上埋まるので、慎重にバランスを取りながら歩かないと、泥に足を取られて長靴が脱げてしまったり転んでしまったりすることもあります。慣れて体のバランスがとれるまではゆっくりと動きましょう。

苗の植え方はどうするの？

1. 苗は、苗代の束から中指に人差し指を添え、親指で根元を軽く押さえるようにしてとってください。（図1）3～4本の苗を1株としてまとめて取って、3cmの深さを目安に植えてください。指を添えるのは、苗の根元を傷めたり腰折れにならないようにするためです。（図2）親指を離すと同時に、中指と人差し指で苗の根元を軽く土壌に押しつけます。しっかり植えないと、せっかくの苗が浮いてしまいます。（図3）
2. 小学生は、横に3株、大人は、横に5株を30cmの間隔に植えてください。
3. 左右30cm間隔、前後30cm間隔に植えてください。これには理由があります。稲は成長するに従い、どんどん茎の数が増えていきます。これを「分けつ」といい、3～4本の苗が20～30本もの稲になります。
4. 植えた苗を踏まないため、後ろにさがりながら植えていき、足跡で泥がへこんでいるときは、手で均してから植えていきます。それでは、皆でやってみましょう！！

な え も て ゆ び う ご
苗を持つ手と指の動き

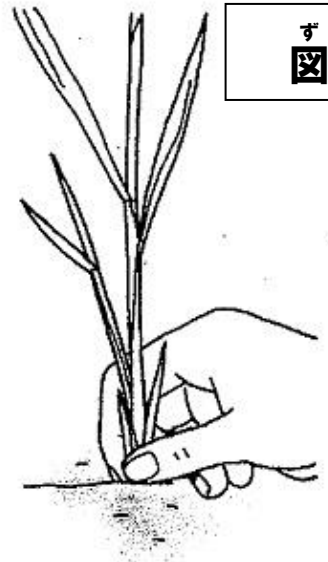
くつした あし ほご
※靴下は、足の保護のため2

まいかさ
枚重ねてはいてください。

す
図1



す
図2



す
図3

